



秋の圃場 (二)

第六臨時教員養成所教授 竹島茂郎

(1)はるしやぎくは丈二三尺にして、花形や、コス、すのを見ることが出来る、之は昆蟲が來たと思つ
モスに似て居るが、枝の分岐著しくして、莖葉共に花粉を持ち運ばせる積りで吐出すのである。

に繊細である、花は外鮮黄内樺茶にして、風とな
びきて舞ふが如き姿は得も云はれぬ風情がある、
之は春蒔でも育たぬ事はないが、株が餘り太らな
いから見ばえがない。
泌するところがある、花の色は紅稀に白であつて
花形は大きくないが簇生するから一寸美しく見ゆ

(2)やぐるまぎくは葉は細裂して莖葉に白色を被むるものである。

つて居る、花形矢車に似て、色に紫・白・赤・桃色等
がある、蕊のまだ花粉を吐かないのものに鉛筆の先
を觸れさせると、モク／＼と澤山白い花粉を吐出
するがよい、花の美しい事は皆人の知るところで
困難であるから、初めから本圃に筋蒔にして間引

ある、此の植物は子房・果實・種子の説明に大層便利なものである。

(5) スキートビーは荳科植物で外國の「ゑんどう」

と云ふ格である、但し我國の「ゑんどう」は實を目的として栽培せられるもので、花は中々風情があるけれども餘り珍重しないが、西洋の「ゑんどう」は花を目的とし栽培せられて居る關係で斯様に美しい花が出来たものと認められてゐる、丁度其反對の有様は「さくら」に於てよく現はれて居る、即ち日本の「さくら」は花を主とし、西洋の「さくら」は實を主として栽培せられたものである。

(6) こばんさう・ひめこばんさうは禾本科のもので小判形の實が澤山なりさがつて風に搖られるところは甚だ面白いものである、花壇の縁栽として適當である、床蒔にして移植するもよく、又初めから本圃に蒔いてもよい。

(7) バンジーは莖菜科のもので、黄・紫・白の三色が混つて居るところから三色すみれの名を得たものであるが、頗る變つたものが多い、英國の原産で

パンジーの名はセキヌビヤの命名であると云はれて居る、此の植物も栽培は極めて容易であるから、特に注意事項を述べた迄もないが、害虫の中に「なめくぢ」は葉よりも寧ろ花を食害するから、之を驅除することに注意せねばならぬ。

(8) チュリツプは百合科のもので球根を植ゑるのである、排水のよい砂混りの腐植土が宜しい、四月花を開くのであるが、一株に一つより咲かぬところから、貞操を示すものだと珍重せられて居る葉の枯れた後は掘り出して一兩日日蔭に乾しい涼しい所に保存し、秋になつて再び植ゑるのである。

(9) ヒヤシンスも百合科で四月頃、緋・紅・碧・白等の誠に美しい花を咲かせるものである、取扱は前者に同じ。

(10) すゐせん・アネモネ及びさふらん等も秋植ゑの球根類である、すゐせんの中近年輸入せられた喇叭咲水仙は一寸面白い品種である。

秋の終りになつてそろ／＼霜が降る様になるとダリーヤ・カンナ・ゆり等の寒さを嫌ふところの宿根草類は、早速掘起して一兩日乾かして土を去り日當りよき乾きたる地面（南向の椽の下等）に穴を掘つて粗殻を入れ、其の中に隣のものと同れ合はぬ様にして埋めて置くが宜しい、球根を掘り起すとき特に注意を要することはダリーヤの球根で

ある、之は「さつまいも」の様に實際根に養分を貯へたものであるが、併し此のものは全く不定芽をもつて居らぬから、一つ一つの芋をつぎらしては其の球根は全く芽を出すことなくして腐つてしまうから、一つの株に多くの球根が着いて居ても一つも離すことなく其のまゝそつくり掘起して保存し、翌年四月頃に於て芽の出かけたのを認めて其の芽によつて球根を切り分ける様に致さねばならぬ。(終)

我が幼稚園に於ける訛音の調査

和歌山幼稚園長 中村 楠雄

□近時我が國の教育界はすべての方面に元氣な々な議論や運動が起つて來た事を慶賀せずにはゐ躍動を示して來たが、また國語教育界に於ても様 られぬ。